

景観配慮協議申出書

令和2年4月27日

(宛先) 鎌倉市長



届出者 住所 東京都千代田区丸の内二丁目4番
 氏名 ファーストラグゼキピタル株式会社
 代表取締役 鹿野太一

電話 03 (5219) 5390

代理人 住所 横浜市港北区新吉田東二丁目7番
 氏名 株式会社池原靖史建築設計事務所
 代表取締役 池原靖史

電話 080 (3776) 8004

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	旧市街地の住宅地、沿道住宅地		
景 観 地 区	<input checked="" type="checkbox"/> 内 (鎌倉景観地区) <input type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	横浜市港北区新吉田東二丁目7番1号	
	氏 名	株式会社池原靖史建築設計事務所 代表取締役 池原靖史	電話 080 (3776) 8004
行 為 の 場 所	地名地番	鎌倉市 御成町 187番3	
	用途地域	第二種住居地域(過半) 第一種中高層住居地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input checked="" type="checkbox"/> 準防火 <input type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input checked="" type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他()	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定 2020年 9月 1日	完了予定 2021年 10月 31日	

(裏)

建築物の概要	用途	ホテル・飲食店						
	最高の高さ	9.96 m	階数	地上3階 地下0階				
	構造	鉄骨造						
	敷地面積	954.57 m ²						
	建築面積	569.70 m ²	届出以外の部分	0 m ²	合計569.70 m ²			
	延べ面積	1,570.74 m ²	届出以外の部分	0 m ²	合計1,570.74 m ²			
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m		<input checked="" type="checkbox"/> その他 2.32 m (15.0m 天端から高さ)				
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²						
	仕上材	屋根	アスファルト224.7化粧板		色彩	屋根	N5 (灰色)	
		外壁	押出成型セメント板 高耐久性並付仕上塗料 ・コンクリート打放し7.垂クリア塗布			外壁	押出し成型セメント板 → N8 (薄灰色) ・コンクリート打放し → 5Y7.5/0.5 (灰色)	
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²						
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²)		その他 ()				
	行為の内容	切土 (m ³) 盛土 (m ³)		その他 ()				

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着眼点	計画地周辺の現況等記入欄
地域的特徴	住宅を主体とした土地利用が中心。少数の店舗が混在立地しており、最近では車対応型の店舗や時間貸の駐車場等が増えている。
まち並みの連続性	背景の山並みの緑との調和した低層戸建住宅の住宅地。敷地西側は中層の共同住宅となっている。
周辺建物のデザイン	昔ながらの勾配屋根を有する戸建て住宅や、陸屋根を有するモダンなデザインの共同住宅が並んでいる。
眺望景観	背後に緑豊かな山並みを有し、沿道も緑化がなされ、落ち着いた佇まいを有する。
景観資源	沿道の市街地景観に配慮した公共施設、優れた眺望景観を有する。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項目	自己評価	配慮事項記入欄
配置	◎	前面道路からの引きをとり、高さを10m未満に抑えることで周囲のスカイラインとの協調を図る。
形態意匠	◎	緑化ネットとしてのロープを縦格子状に並べ、やわらかで親しみの持てる外観とする。
色彩	◎	彩度3以下、明度3~8とし、周りの住宅地になじむ落ち着いた色彩とする。
建築設備	◎	設備は屋上とし、前面道路から離れた位置に配置することで極力歩行者の視線に入らないように配慮する。
外構緑化	◎	接道部に中高木を配して十分に緑化する。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項目	自己評価	配慮事項記入欄
造成		
擁壁		
敷き際・緑化		